

第76回 愛媛陸所競技選手権大会での新型コロナウイルスへの対応について

一般財団法人 愛媛陸上競技協会

○大会の観覧について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、今回の大会については、参加選手、引率者のみの無観客試合とします。一般の方の観覧は、できません。

○競技会観戦方法につて

今シーズン、全ての競技会でマスクの着用、手指の消毒、をこまめに行っていただくことをお願いいたします。また、スタンドやスタンド下では「密」にならないように注意してください。

応援は全て拍手のみでお願いします。「声を出しての応援」・「集団での応援」は禁止します。また競技者が大きな声を出すなどの行為も同様に禁止します。

禁止例)

- 1：競技者の名前等を大きな声で叫ぶ。
- 2：フィールド種目の競技者が出した「行きま～す。」などの声に対しての返答（「は～い」等）。
- 3：競技終了後に「〇〇お疲れ～」などの声掛け。
- 4：競技者が自身に気合を入れるため、または集中するための声出し。
- 5：競技場内において、リレー競技等のチームメイトへの応援。
- 6：その他、競技会運営に不要な声掛け

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のためご理解・ご協力をお願いします。

○参加選手

1 体温について

- ①2日間（大会前日及び大会当日）連続で体温が37.0度を超える場合は参加できません。
- ②大会当日の朝、はじめて37.0度を超えた場合についても参加を見送ってください。

※欠場者の参加料については必要ありません。当日、大会受付時に各所属の代表者が欠場者をお知らせください。

2 発熱以外にも咳やのどの痛み等の症状があり、体調が悪い場合についても参加を見送ってください。

3 マスクの着用を必ずお願いします。特に下記の場所・状況においては注意すること。

招集所、参加受付時、着替え時、会話時等
(なお、競技中、ウォーミングアップ中は着けなくてもよい。)

※招集所には必ずマスクをつけて来てください。

4 こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施をお願いします。

※石けんや消毒等については各チームで必ず準備してください。

- 5 競技に参加する際は、各自で手洗い・消毒を済ませた後、招集所へ来ること。また、競技終了後、ただちに各自、手洗い・消毒を行うこと。
- 6 観客席や控え場所において、観客や選手同士との距離を2 m以上確保してください。
- 7 個人・またはチーム内で出たごみは各自自宅へ持ち帰ること。
- 8 記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。

※本協会は競技会に参加するすべての方々（競技者・チーム関係者・競技運営関係者等）の新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任も負いません。

競 技 注 意 事 項

本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（円盤投・ハンマー投・やり投）の練習については、多目的広場を使用する。砲丸投の練習は、係員の指示に従って補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う使用の際は係員の指示によって行う。

補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・ 1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
- ・ 3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・ ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路5～10レーンのみとする。
- ・ 多目的広場側直走路7・8レーンは女子ハードル、9・10レーンは男子ハードルとする。
※第2日目のハードルを置いての練習は10時以降から行うこと。
- ・ 第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路の5レーンは女子300mH・女子400mH、6レーンは男子300mH・男子400mHとする。
- ・ リレーの練習は用具倉庫前第2コーナー付近を利用して行うこと。
※リレーの練習をする際は、周囲の安全に注意して行うこと。
※第4コーナー付近でのリレー練習は行ってはならない。

雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

棒高跳について

競技開始70分前から現地にて跳躍練習を行うことができる。ただし、審判員の指示に従うこと。

2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

・ アスリートビブス（ナンバーカード）は指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。

- ・トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横や後方につけること。
- ・3000m以上の種目は別ナンバーカードを使用する。
※別ナンバーカードは招集所にて配布する。

4 選手招集について

- ①選手招集場所は、第2ゲート付近とする。
- ②選手招集開始・完了時刻は下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド競技	競技開始40分前	競技開始30分前
フィールド種目 男子 三段跳	競技開始50分前	競技開始40分前
フィールド競技 男女 棒高跳	競技開始80分前	競技開始70分前

※棒高跳は、現地で招集を行う。

ただし下記の種目の予選については、招集完了時刻を段階的に行うので競技時間を確認し、注意すること。

男女 100m、男女 200m、男子 300m、男女 1500m、男子 5000m、
男子国体少年B 3000m、

- ③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④リレーのオーダー表は招集完了時刻1時間前までに提出のこと。
※一度オーダー用紙を提出したら、その後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。
- ⑤2種目を同時に兼ねて出場する選手は、2種目同時出場届を競技者係に申し出る。

5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ④TR16.5（不適切行為）が認められた場合は、審判長の判断により「イエローカード」が出されることがある。同じ競技会の中で2度の規則違反があった場合は失格となる。
- ⑤スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑥短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑦男子10000m・男子国体少年B3000mは、グループスタートで行う。
- ⑧トラック競技において、同記録者がでた場合は、写真判定主任により写真を拡大し細部（電気時計1/1000）まで読み取り着差の判定をする。ただし、着順優先とし、各組上位者のみとする。
- ⑨レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑩4×100mリレーのマーカ―は主催者が用意したものを出発係より受け取り、1カ所のみ使用することができる。使用したマーカ―はそのチームで処理すること。
- ⑪4×400mリレーに出場するチームの第2～第4走者は、胸に別ナンバーカードを使用する。また第2・第3走者は通過順位確認のため、パンツの左横や後方につけること。別ナンバーカードは招集所で配布する。
- ⑫予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を大型映像装置で

掲示する。

⑬競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。

⑭男子5000mW・女子5000mWについては下記の時間を越えて最終周回に入らない。

男子5000mW：25分、女子5000mW：30分

⑮携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。コーチエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に持って画像を確認することはできない。

⑯フィールド競技における競技中の選手への水分の差し入れについては、競技該当審判員を通じて選手に手渡すことができる。

6 競技用具について

①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし、やりは検査において合格したものに限り使用が認められる。

個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行い、やりの検査は競技開始60分前に招集所にて実施する。

②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳、三段跳

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

		練習									以降
走高跳	男子	165	170	175	180	183	186	189	192	195	3cm刻み
	女子	140	145	150	155	158	161	164	167	170	3cm刻み
棒高跳	男子	330	340	360	380	390	400	410	420	430	10cm刻み
	女子	190	200	210	220	230	240	250	260	270	10cm刻み

※練習跳躍のバーの高さは審判と参加選手で協議し現地で判断する。

第1位決定のために行うバーの上げ下げは、

走高跳 2cm

棒高跳 5cm 単位とする。

9 三段跳の踏み切り板の位置について

三段跳の踏み切り板の位置については、砂場から下記の入りに設置する。

男子・・・12m00、13m00

女子・・・9m00、10m00

10 表彰について

各種目1～3位までに入賞した者またはチームに賞状を授与する。ただし、表彰式は行わないので、各自ロビーに取りに来ること。

11 四国選手権調査書について

各種目で8位までに、入賞した選手は、エントランスホールにて四国選手権調査書を必ず記入し、提出すること。

※出場の意志がない場合も必ず提出すること。

12 その他

- ①やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ②応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③更衣室については、競技場メインスタンド下通路を入れて左側にあるので利用してもよい。
- ④記録は、記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示する。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行わない。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認すること。
- ⑤プログラム配布は競技場内、南エントランスの大会受付にて行います。

○競技会で使用される主な略号について

日本語表記	略号
欠場	DNS
途中棄権	DNF
記録なし	NM
失格	DQ
標準記録突破による通過者 または順位による通過者	Q
記録による通過者	q
愛媛県新県記録（愛媛県タイ記録）	PR（=PR）
愛媛県高校新記録（愛媛県高校タイ記録）	PHR（=PHR）
愛媛県中学新記録（愛媛県中学タイ記録）	PJR（=PJ）
大会記録	NGR